

区に12項目の要望書を提出 全園に看護師と栄養士の配置を

父母連は9月16日、各園から上がってきた要望を12項目にまとめた要望書を区に提出しました。以下、要望要旨です。
(区からの回答については、次の連絡会議で報告します)

- 1 現在、看護師と栄養士が全園に配置されていません。1歳児の子どもも、健康に保育をしていただくために、0歳児を基準とするのではなく、全保育園に看護師と栄養士を配置してください。
- 2 新制度にもとづく保育園の入園の仕組みが複雑です。保護者がわかりやすい仕組みに改めてください。
- 3 兄弟が同じ保育園に入りやすくなるよう、入園の仕組みを改善してください。
- 4 保護者はただ子どもを預ける施設でなく、質の高い認可保育園を希望しています。「待機児童」の規定を改めてください。
- 5 ひびの入った状態の窓の改修、雨漏りしている園舎の修繕、園庭の砂が入ってくるサッシの隙間の修繕、保育園の敷地境界線のネットの改善、さび付いて固くなった扉や鍵を至急改修してください。耐震検査を全園で改めて実施し、調査結果を公表してください。
- 6 お迎えの時、インターホンでの対応、無線による施錠開放など、園によって違います。安全管理を統一してください。
- 7 認可保育園を希望する児童が全員入れるよう、認可保育園を増設してください。5歳まで預かる認可保育所になることを準備している所(法人)を、援助してください。

- 8 新制度にともなって、これまで在園してきた児童が退園されることのないようにしてください。
- 9 子育て世帯の生活を圧迫する保育料の値上げはしないでください。
- 10 認可保育園の運営に区が責任をもつこと。そのために安易な民間委託はこれ以上すすめないこと。委託した保育園では、職員の身分保障や健康管理など、行政として公的な責任をはたすことを約束してください。
- 11 毎年、保育問題協議会と父母連合会が主催している「入園説明会」に、区の担当職員を派遣して、保護者の疑問に答えてください。
- 12 長い間、保育園児と保護者が同伴して実施してきた親子バス遠足がなくなると聞きました。楽しみにしてきた親子も少なくありません。決め方が一方的で抗議します。長年続いてきた施策や運営、園の行事を変える際は、父母連や父母会、保護者の意見をよく聞き、保護者の要望を反映してください。当面、親子バス遠足をやめてそれに変わる行事を催すとしていることについて、何を計画しているのか、園名ごとに示してください。

【2015年度の父母連について】

今年度の父母連総会は6月に開催。保育園の環境整備など父母の願いを実現する活動方針を決め、次の新体制を確立しました。

- ・会長：小松あゆみ（早宮父母会・前民間委託対策委員長）
- ・事務局長：岩城明（栄町保育園元父母会長）
- ・副会長：佃 一浩（関町第三保育園父母会会長）
- ・役員：住友光一（石神井台第二保育園保護者）
福島利恵（石神井町さくら保育園前父母会長）
満川知代（早宮保育園保護者）
金森聡子（関町保育園保護者会会長）
太田つむぎ（桜台第二保育園元父母会長）
柳沢健二（関町第三元父母会長、練連協会長）

【会長からひと言】

この度、父母連会長になりました。早宮保育園の小松あゆみです。昨年度は、新制度に関わる署名活動などに、ご協力ありがとうございました。おかげさまで保育料が値上げされることなく、据え置かれることになりました。みなさまにとって、さらに身近な父母連にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

入園説明会に300名を超える参加者

保育問題協議会と共催で開催した「入園説明会」。10月の説明会には140名、11月の説明会には170名、計300名を超える保育園入園希望のパパ・ママが参加しました。



父母連連絡会議&学習会のお知らせ

◎日時：2016年1月24日(日) 受付9時30分

◎場所：男女共同参画センターえーる 第2、3研修室

☆学習会テーマ

「保育園と繋がりあっての子育て」

講師：北町保育園・高田礼子園長先生

保育希望の方は1月15日までに父母連にメール下さい

<練馬の保育情報> -いまどんなことが起きているの？

練馬区は、2015年春に、区政運営の新ビジョン（緑の風吹く新ビジョン）を公表。

その中で、子育て施策をすすめているとしています。保育に関する施策はどんなことが書かれているのか。



◎<「新ビジョン」の子育て事業の2つ目に「保育の充実」の文言が>

◆「素案」の段階には無かった「保育の充実」という文言が、父母連が要求して、子育て施策の「2つ目」の柱に入りました。

◎<待機児対策として>

◆待機児童問題は深刻です。区は、保育ママや地域型保育事業（小規模保育所）に入園した児童を待機児とみなしません。

それでも6月の区議会では待機児373人と公表しました。2016年4月に開園する認可保育園は6園にとどまります。

区は保育園の増設でなく、小規模保育施設や「ねりま子ども園」で待機児解消を進めるとしています。

◆待機児解消策としてうちだされた「ねりまこども園」。幼稚園施設での運営で、40ある幼稚園のうち、保育をする園で「ねりま子ども園」の看板を掲げます。幼稚園利用者と就労している保護者と保護者会や行事等、一緒にできるのか不安もあります。

◎<ねりっこクラブ 卒園後の学童クラブの先行きが不安>

◆卒園してから通う学童クラブ。区は、全学校で開設している「ひろば室」と学童保育を一体的に運営する「ねりっこクラブ」を始めるとし、3校でスタート（田柄第二小、向山小、豊玉小）。平成31年までに20か所で実施するとしています。学童保育の質がどうなるのか、不安の声が上がっています。

◎<保育料の値上げを検討か>

◆10月19日から配布が始まった保育園入園のしおり。最初のページには園児1人当りに費やす税金の説明が。他区では保育料を値上げた自治体も。練馬区議会でも「値上げ」を迫る議員もいます。値上げの布石か？ 家計を圧迫する値上げは困ります。

「ねりまふぼれん」とは・・・

練馬区保育園父母連合会（父母連）は、子ども達が安心して過ごせる保育環境をめざし、みんなで学び・考え・助け合い、各保育園の父母会活動の交流をはじめ、区との懇談会の開催や、勉強会にとりくみます。

また、施設の改修・改善に関する要望を区に提出したり、民間委託に関する情報交換をすすめています。これらは定例の「連絡会議」を中心に情報交換を行い、父母会活動の援助を行っています。

父母会単位での参加はもちろん、個人参加も歓迎です。ぜひ父母連の連絡会議や学習会、イベントをのぞいてみませんか。

父母連のイベント「もりのひみつたんけんたい」観劇会

7月に、父母連役員の中一浩さんによるひとり芝居「もりのひみつたんけんたい」を生徒学習センターで上演しました。区内各園から集まった園児とお友達、保護者が観劇しました。森の木にみたと、参加者がバルーンを手にとると、会場全体が物語の中の舞台に変わり、子ども達は楽しいひとときを過ごしました。



■加盟費の入金をお願いします

2015年度、入金が済んでいない父母会および個人会員の方は、下記の口座まで振り込み願います。

〳〳〳〳〳〳、ご加入ください〳〳〳〳〳〳

父母連は、加盟父母会・個人加盟の会費によって運営しています。1園でも多くの父母会が加入されることが、練馬の子ども達と保育園を守る力にもなります。ぜひご協力ください。また、ご質問等ございましたらお気軽にメールください。

<振込先>

ゆうちょ銀行

店名：〇〇八

（ゼロゼロ八チ）

口座：普通8381676

練馬区保育園父母連合会

※お振込みの際は、園名を入力するようにしてください。また確認のためメールにてその旨を必ずご連絡をお願いします。（例：〇△ホイクエン）

～練馬ふぼれんメーリングリスト～ 加入者募集中！

父母連からの最新の情報はMLでお伝えしています。各園からのお知らせ、他園との情報交換にも自由に活用して頂けます。

申込はメールで、件名に「ML 加入希望」、本文に「園名、父母会の役職（なければその旨）、氏名」を記入してください。

父母連アドレス：neri_fubo@yahoo.co.jp